

病院だより

第13号

平成25年12月1日発行

病院の理念

1. 患者本位の医療を行います。
2. 良質な医療を行います。
3. 行政サービスという自覚を持った医療を行います。

〒418-0076 静岡県富士宮市錦町3番1号

TEL : 0544-27-3151 FAX : 0544-23-7232

e-mail:h-kanri@city.fujinomiya.shizuoka.jp

<http://fujinomiya.cococala.net/html/index.html>

ふれあいフェスティバル



さくやちゃん



ふーちゃん



常葉大学短期大学音楽科の音楽



フラダンスの披露



白衣の試着体験



調剤体験



手術室の見学



手洗いチェック

11月23日(土)、市民の皆様へ市立病院の活動を知っていただくために、ふれあいフェスティバルを開催しました。今年度で2回目の開催となり、「来て、見て、触って、医療の現場」と題して、各科の活動を紹介しました。当日は、富士宮市のマスコットキャラクターの、さくやちゃん・ふーちゃんも駆けつけ、たくさんの方々にぎわいました。会場では、看護・栄養相談や白衣の試着コーナー、超音波・骨密度検査体験、細菌を顕微鏡で見てみよう、調剤体験、腹腔鏡手術シミュレーターなどを設けました。各コーナーでは、当院スタッフが実際に実演・説明し、ご来場された方々の質問に答えていました。普段、めったに見られない手術室の見学ツアーも今年度から開催しました。ツアーに参加された方々は、実際の手術でも使用されているガウンを着て、興味深そうに手術室内を見学していました。また、常葉大学短期大学部音楽科による音楽や、当院職員も参加したフラダンスの披露、静岡県立富士宮西高等学校ギター部による演奏が行われ、和やかな雰囲気になりました。

今後も、地域の基幹病院として市民の皆様へ開かれた病院を目指し、イベントや広報活動を行ってまいります。

目次

○ふれあいフェスティバル

○総合防災訓練

○高校生ころざし育成セミナー

○お知らせ

総合防災訓練



9月1日(日)に、平成25年度総合防災訓練を行いました。午前8時30分に駿河トラフから南海トラフにかけての巨大地震が発生し、県内全域で甚大な被害が発生したことを想定し、訓練を実施しました。市立病院では、職員

295名、自治会82名(常盤区、田中区)が訓練に参加し、トリアージ訓練(運ばれてきた負傷患者に医療スタッフが治療の優先順位をつけること)、負傷者受け入れ訓練、さらに、ドクターヘリを使用した広域搬送訓練を行いました。今回、初めて受付トリアージから、入院、広域搬送、予後不良までの一貫した訓練を行い、医療従事者、事務スタッフとともに手順を確認していきました。また、遠隔地からの負傷者受け入れ訓練は、広域搬送訓練とともに、自衛隊・消防署と連携する訓練で、搬送されてきた模擬患者の院内トリアージを行い、広域搬送カルテを作成し、救急隊に引き渡すという一連の訓練を行うことができました。また、災害時の連絡手段としては衛生電話を使い、不測の事態に備えた連絡訓練も同時におこないました。今後も地域の災害拠点病院として、市民の皆様の安全・安心に応えられるよう今後も訓練に取り組んでまいります。

高校生こころざし育成セミナー



8月28日、大学の医学部進学を目指す高校生を対象とした、静岡県主催の「こころざし育成セミナー」を開催しました。静岡県内の人口10万人あたりの医師数は、全国で44位と低く、地元医療を支える人材の育成が求められています。将来を担う高校生に、直接医療現場を見てもらい、体験してもらうことで、医師を目指す志を育成してほしいとの目的から、平成20年度から県内各病院で実施しています。参加した21名の高校生は、白衣や、手術着に着替え、人工皮膚を用いた、縫合・結紮の模擬体験、腹腔鏡手術トレーニング機材を用いた外科手術の体験、心工コー体験、心肺蘇生訓練用の人形を用いた救急医療の体験を行いました。高校生からは、「医師という仕事への興味が高まった。」「見るだけでは分からない難しさを実際体験できてよかった。」「勉強面や生活面での話が聞けて参考になった。」等、非常に満足していただきました。

お知らせ

●次回、市民健康講座の開催について

第72回「生活習慣病による心臓の病気」 開催日：平成26年1月17日(金)

講師：循環器内科 科長 勝呂清尚 先生

※場所は南棟会議室、時間は19:00~20:30です